



創立 10 周年を

共に祝おう

第 11 代会長 加藤 武

当倶楽部は、2001年（平成13年）1月30日に神奈川県下第1号のプロバス倶楽部として誕生いたしました。

来年1月に創立10周年を迎え、今期は「創立10周年」の記念すべき年であると共に一つの節目の年でもあります。

そこで、事務局等運営体制の見直しをはじめ記念行事として10月に「創立10周年記念親睦旅行」及び来年4月に「記念式典・コンサート・祝賀レセプション」等を実施いたします。

皆様方と共に創立10周年をお祝いすると共に、10周年を契機に倶楽部の一層の活性化・充実等発展を期したいと思います。

さて、当倶楽部の会報紙ですが、平成17年に当時幹事であった関尚紀氏と情報委員会のご努力で「かわら誌・創刊号」が刊行されましたが、その後大変残念ながら情報委員会の事情等で第2号が発刊されず今日に至ってしまいました。

しかし、一方では前情報委員長であった関尚親氏のご努力により、インターネットによる情報提供がなされておりますが、大変残

念ながら会員諸兄姉の目に触れることが少ない状況です。

創立10周年の年度にあたり、情報委員会（委員長・青木伊平氏）が中心となって改めて会報紙「横濱プロバス通信」として、年3回（10、2、6月に）

発刊しようということになりました。

それぞれ4ヶ月間の例会の様子や理事会での協議内容をお知らせすると共に記録を残すことと、及び会員の近況や随筆を考えております。ご期待をいただきたく存じます。

10年一昔といいませんが、一つの節目の年度として「プロバスクラブ」活動について省みて、原点は何かを考えてみようと思えます。

幸いにも長年神戸北プロバスクラブ兼全日本プロバス協議会の幹事長として活躍されている吉川哲朗氏の一文が入手できましたので紹介しますと

みんなで楽しい、和やかな、ゆったりとしたクラブ おのずと集って行きたくなるようなクラブ

知り合いの輪を広げる

親睦を図りながら、お互いの貴重な知識や体験をみんなに伝える 次の世代に伝える

世のため、人のために少しでもお役に立つということです。

私たち、横濱プロバス倶楽部としても前記の「5つの理想像」の実現に向けて努力していきたいとぞんじます。



9月例会で抱負を述べる加藤武会長

今期は創立10周年記念行事等を行うメンバーとして、副会長に東野操、幹事兼例会委員長に荻原信吾、会員委員長に中村實、情報委員長に青木伊平の諸兄姉をはじめ小磯智功、櫻井宣幸、森山功、加藤道子氏等素晴らしいスタッフが揃いました。

前記の理事の皆さんを中心に、会員の皆さんの諸行事に対するご理解とご協力を是非お願いしたいと存じます。

会員一人一人のご協力により、全員で創立10周年を盛り上げられたらこんな素晴らしいことはないでしょう！
よろしくお願い申し上げます。

< 第 11 回定時総会報告 >

平成 22 年 6 月 11 日開催
進交会館 6 階

下記の方々が新役員に選出されました。

会長 加藤 武、
副会長； 束野 操、
幹事兼例会委員長 荻原信吾
会計； 小磯智功、
会計監査； 桜井宣幸、森山功
会員委員長； 中村 實、
情報委員長； 青木伊平、
例会副委員長； 加藤道子、

加藤新会長からクラブ活動の活性化に向けた下記具体的活動方策が提案され、承認されました。

1 創立 10 周年を契機に、年会費と運営体制を見直す。具体的には、年会費 3 万円（月 2,500 円）を年 1 万 2 千円（月 1,000 円）とし、専任事務局体制を廃止し、事務局は会員の中からボランティアとして選任する（事務局費の節減）。これにより入会し易い会とする。

2 年 11 回の例会中、6 月総会・懇親会、10 月に 10 周年記念 1 泊旅行会、12 月は年忘れクリスマス例会、1 月；新春例会、そして 4 月に創立 10 周年記念式典・祝賀会を開催し、残りの 6 回を会員とゲストスピーカーによる放談（施設見学会も）とし、楽しく内容のある会を目指す。

3 3 部会（例会委員会、会員委員会、情報委員会）を適宜開催し、各部会の活動を活性化し、倶楽部の

の活性化につなげる。

例会委員会では、上記の他、全日本協議会の役員をゲストスピーカーにお招きし、プロバス活動の原点についてお話し頂くこと。

会員委員会は、会員一人が一人の新入会員紹介の運動を進める。

また、情報委員会は、ホームページの充実と、会報紙「よこはまプロバス通信」（年 3 回発行）と 10 周年記念誌を発行することとする。

< 理事会報告 >

原則として毎月第 3 金曜日、午後 2 時から進交会館 6 階みなと倶楽部にて「理事会」を開催し、倶楽部の運営にあたっております。紙面の都合で主なる協議事項のみ掲載いたしました。

6 月定例理事会（6 月 18 日 9 名）

年間スケジュール（総会決定日程）の確認について

7 月第 108 回例会の内容及び開催通知について

7 月例会開催後の各委員会の開催について

9 月例会の特別放談ゲストスピーカーについて

創立 10 周年記念「親睦旅行」及び「記念誌」について

新入会員の確保・承認及び誕生日祝品について

会報紙（仮称・かわら版 定期発行）の発刊について

第 4 回全日本プロバス協議会（9 月 12 日旭川にて）について

なお、当倶楽部の「運営マニュアル」及び「各委員会の業務内容」について確認された。

7 月定例理事会（7 月 16 日 10 名）

9 月第 109 回例会の内容及び開催通知について

創立 10 周年記念「親睦旅行」及び「記念誌」について

新入会員について

会報紙（定期発行）について

8 月理事会（8 月 20 日）会報紙発行に関連して情報委員等を含めた拡大及びコミュニケーションを図る納涼会とする）について

8 月拡大理事会（8 月 20 日 弁慶に於いて出席者 17 名）

新入会予定者松下、平野、奥川及び小池氏の入会承認（但し小池氏は欠席のため保留）について
9 月第 109 回例会の再確認について

創立 10 周年記念「親睦旅行」について

会報紙（定期発行）について
納涼親睦懇親会を開催

9 月定例理事会（9 月 17 日 10 名）

10 月第 110 回（移動）例会及び「親睦旅行」の役務分担並びに開催通知について

創立 10 周年記念「記念誌」の原稿作成（集約）状況について
新入会員の確保について

会報紙「よこはま プロバス通信」（名称決定）の 10 月発行について

第 4 回神奈川県プロバスクラブ親睦交流会（10 月 13 日）及び東京八王子プロバスクラブ創立 15 周年記念行事（10 月 17 日）参加者確認並びに倶楽部からの補助金について

12 月特別例会「年忘れクリスマス例会」の内容について

< 7月例会開催(第108回) >

平成22年7月9日(金)正午から横浜馬車道相生本店で第108回例会が開催されました(16名出席)。

会食後、加藤会長から挨拶並びに7月のゲスト、横浜港南台プロバスクラブ「まるにえ」の小野里会長、田辺会員、池下事務局長の紹介があり、次に、誕生月の佐藤会員、關会員、東野会員に、中村会員委員長からお祝い品贈呈が行われました。

7月の会務報告(理事会協議事項)は、以下の通りです。

(1)年間スケジュールの確認、



(2)9月ゲストスピーカーは、全日本プロバス協議会副会長の立川富美代氏に決定、また(3)創立10周年記念行事の1泊親睦旅行(10月7日、8日(熱海))の確認 記念誌の来年4月発行と会員への原稿依頼(4)新入会員承認方法(理事会に出席)と誕生月会員祝い品の変更について中村会員委員長から報告

(5)会報紙の年3回(10月、2月、6月)発行決定。また(6)9月12日(日)旭川にて開催の第4回全日本プロバス協議会総会には、加藤会長、荻原幹事の参加が承認されました。(7)小磯氏からの会計報告の後、(8)事務局か

ら、例会欠席者の報告・コメントがありました。

7月の会員放談は、「あれから37年 世の中変わりました、25歳の旅」と題して会員委員・保谷英雄氏(写真・左)が行いました。最後に月の歌「故郷」を合唱し、閉会后、各委員会を開催し、今年度の活動について話し合いが行われました。

< 9月例会開催(第109回) >

平成22年9月10日(金)正午から、全日本プロバス協議会副会長立川富美代さんをお迎えして相生本店で第109回例会が開催されました(17名出席 写真下)。

会食後、会長挨拶の冒頭、会長の音頭により、8月12日亡くなられた故今井田津子会員(享年75歳)に黙祷を捧げました。

その後、まず9月のゲスト・特別放談者・全日本プロバス協議会副会長立川富美代氏の紹介があり、引き続き、会員委員長からビジターとして新入会予定の松下尚雄氏、平野正弘氏が紹介されました。次に、9月誕生月の加藤義一氏(89歳) 河崎清二氏、関口尚親氏、大久保武氏の4氏にお祝いの贈呈がありました。



会務報告(理事会協議事項)は以下の通りです。(1)創立10周年記念行事 10月の1泊親睦旅行は、13人参加(団体扱い)

記念誌原稿の作成状況報告(森山編集委員から未提出会員への協力依頼)(2)会報紙「かわら版(仮称)」の10月創刊(3)他クラブ等の諸行事関係 横浜山手ロータリークラブ例会に8月4日(水)会長と幹事が出席し挨拶 第4回全日本プロバス協議会総会9月12日(日)旭川(会長、幹事出席)

第4回神奈川県プロバスクラブ連絡協議会親睦交流会、10月13日(水)川崎にて開催(会長以下10名出席) 東京八王子プロバスクラブ創立15周年記念式典10月17日(日)八王子にて開催(講演会・式典・パーティに会長以下8名、)(4)会計関係報告(5)例会欠席者の報告・コメント、以上。

9月の特別放談は、「プロバス活動で楽しい人生を!」と題して、東京八王子プロバスクラブ前会長で、全日本プロバス協議会副会長の立川富美代氏(写真上)にお願いしました。地域に認知されること、全員が参加すること、諸サークルを設置して楽しむことなどが大切とのお話を頂きました。



設立時を語る
アドバイザー
松田
和

平成9年5月25日山手RC地区協議会でプロバス倶楽部の構想が発表され、その後紆余曲折があり、平成12年2月4日に飯泉さん村上さん佐藤(博)さん後藤さん松田(私)で初会合。以来17回ほどの会合を重ね、同年5月20名の陣容でスタートすることができました。ともあれ21世紀の幕開けと共に2590地区第1号として発会ができました。RCの本間ガバナーはじめ地区役員の方々とりわけ中山、青山PGそして山手、MM21両R.C会長、社会奉仕委員長等のご尽力の賜物でございました。ここに10周年を迎えるにあたり心から感謝申し上げたいと思います。

また10周年を迎えるにあたり更なる発展を目指し改革すべき所は改革し「なによりも楽しい倶楽部」として15周年を迎える新たな一步の1年にしたいものです。

編集後記

会長の肝入りで「よこはまプロバス通信」の発刊が決まり、お蔭様で創刊号を出すことができました。

あれから3年横濱プロバス倶楽部に入会して多数の方々に出会う事ができました。人生は出会いからと申します。素晴らしい出会いによって人生観も変わってくるし、楽しみも増えてくる。多くの友人を仲間の良い思い出作りをしたいものの、、、異常気象の続く中、世界では様々な出来事が、、、

デパ地下でネクタイしめてサンマ売る

閉店の間に値切る刺身かな

さて、この度の創刊号は総会・理事会と例会の議事録中心の硬い紙面になってしまいましたが、次号からは皆様方の体験談やエピソードなど楽しく面白い内容の紙面にしたいと思います。どうか沢山のご投稿をお願い申し上げます。

私こと10月6日の手術を前に取りとめのない後記になりましたが、健康を取り戻したら役目を果たさせていただきます。お許しください。

(情報委員長 青木伊平)



新入会員の紹介

- 奥川 彰(おくかわあきら)様 会員 55
平成18年入会・退会来年1月再入会
(1) 自動車製造業
(2) いすゞ自動車株式会社・横浜家庭裁判所調停委員
(3) 〒210-0025 川崎市川崎区並木66
(4) ・fax 044-244-2675
(5) 東京都
(6) 1937年7月15日生(73歳)
(7) 趣味 囲碁・名所旧跡探訪
- 松下 尚雄(まつしたただお)様 会員 68
(1) 建築業
(2) 三井物産・現株式会社東方エージェンシー代表取締役
(3) 〒236-0015 横浜市金沢区並木3-3-10-204
(4) & fax 045-784-6549
携帯 090-1551-0096
(5) 東京都
(6) 1944年1月26日生(66歳)
(7) 趣味 釣り、キャンプ、クルーザー操縦
- 平野 正弘(ひらのまさひろ)様 会員 69
(1) 建設業
(2) 株式会社日産自動車・現共信設備設計代表取締役
(3) 〒246-0023 横浜市瀬谷区阿久和東8-19-11
(4) 045-362-8281
携帯 090-8512-3580
(5) 横浜市
(6) 1941年5月7日生(69歳)
(7) 趣味 オートキャンプ、絵画、ビデオ撮影、ゴルフ